

海上小口混載コンテナによる海外輸出実証実験の開始 ～道産食品輸出チャンネル OPEN～

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

国土交通省北海道開発局では、道産食品の輸出促進を目的に、海上小口混載コンテナによる台湾への輸出実証実験を開始しました。

実証実験では、輸出した道産食品を現地のアンテナショップで販売することや、現地のバイヤーと商談することなどを通じて輸送コスト・通関手続き・購買者のニーズ等を把握します。

8月29日、9月20日には、一般社団法人北海道国際流通機構の鳥取代表理事を講師に招き、札幌市内で実験に関する説明会を開催しました。

国土交通省北海道開発局では、第8期北海道総合開発計画において道産食品輸出額1,500億円を目標にしております。これまでも輸送コストや海外での嗜好の調査を

目的に小口混載輸送による実証実験を行ってきました。

説明会では、実証実験の概要の外、今年から新たに試験運用を開始したホームページ「道産食品輸出チャンネル」を紹介しました。

鳥取代表は、台湾のバイヤーと道内の食品業者を引合わせるマッチングサイトで、「経験のない事業者にも積極的に登録してもらい販路拡大に生かしてほしい」と話しました。

説明会に参加した道内企業からは、「台湾ではどのような商品に人気があるのか知りたい」、「これまで食品分野は扱っていなかったが、この実験をきっかけにトライしてみたい」と積極的な意見をいただきました。

詳細及び実証実験への参加はこちらから：<http://hi-do.or.jp/project/>



説明会に関するプレスリリース

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/splaat00000119wg-att/splaat000001opfw.pdf>



国土交通省 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課
工藤港湾技術専門官による趣旨説明



(一社)北海道国際流通機構 鳥取代表理事による事業説明



説明会の様子

